

議 会 広 報 特 別 委 員 会

日 時	令和 8年 6月26日（金） 閉会中	10時01分 開会 11時23分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	（委員長） 9番 絹村智昭 （副委員長） 8番 石山和生	
	7番 鈴木長馬	6番 菅沼保弘
	2番 篠崎朗子	1番 中山尚大
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 増田 奈菜子 書記 中田 綾	
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それでは議会広報特別委員会、思いのほか会議のほうはスムーズにいったので、本来1時から、午後からでしたが、これより始めさせていただきます。

2 事件 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」第83号について

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それでは、早速事件に入っていきたいと思います。

まず、（1）として、牧之原市議会だより「かけはし」第83号について、ページ構成の決定について、議題とします。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

資料の中から、予算連合審査質疑箇所をご覧ください。

こちらですが、本会議で行われた補正予算連合審査の中で、皆様の質疑を一覧でまとめております。ページの都合上、およそこの中から3件から4件、補正予算連合審査の質疑をピックアップしまして記事をつくっていただきたいと思いますと思っております。

1人3回ぐらいずつ手を挙げて、多かったものから選んでいきたいと思いますので、挙手をお願いしたいんですが、進行は委員長、よろしいですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

最後、番号を間違えて3になっておりますが、こちらは5です。申し訳なかったです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局から今話がありましたので、取りあえず一通り目を通していただきたいと思います。1番から5番のところを。1人3回ということで、お願いします。

よろしいですか。

それでは、挙手を3回ということで、よろしくお願いします。

まず、1番を上げたほうが良いという方。続きまして、2番。3番。4番。5番。

以上になります。

数値を見ると、ちょっと集計できないので。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

それでは、ただいま挙手していただいていた結果、四つピックアップさせていただきまして、1番、河川改良費、2番、予備費、4番の海水浴場開設及び海岸整備費、5番の公共用地先行取得事業費の四つをピックアップしていきたいと思います。

委員長のほうで、誰がどの記事をつくるかを割り振っていただきたいと思いますので、どうでしょうか。いつも時計回りなので、反時計回りにしましょうか。

どちらでも大丈夫です。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

じゃあ、自分のほうからいきます。

自分が1番ということで、順番で。2番でしたっけ。今度は4番、5番ということで。一応この順番で、あと一般質問とか、この順番でいきますので、お願いします。

一応やったんですけど、事務局、お願いします。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今の結果ですが、1番が絹村委員長、2番は鈴木委員、4番が篠崎委員、5番が中山委員で決定したということで、よろしいですかね。

またご連絡をさせていただきますので、期限内に記事を提出していただくように、お願いいたします。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ちょっと一点、それこそ今後は、7月の臨時会の補正予算というところがあるんですけど、事務局から説明してもらったほうがいいですか。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

まだ告示等は正式にされておりませんが、7月14日に本会議の臨時会を開く予定であります。このときに行われた質疑、そして予算が上がりましたら、その補正予算の質疑についても掲載させていただく予定であります。したがって、今四つ選ばせていただいたんですけども、その質疑の量次第、臨時会の質疑の量次第では、今書いていただいた記事を幾つか削らせていただく可能性がございますので、その場合は申し訳ないんですが、ご了承いただきたいです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

一応そういうことなので、よろしく。

篠崎委員。

○（篠崎朗子君）

質問が2人なので、文字数とかも同じ待遇なのでしょうか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

質問につきましては、この中から一つピックアップするようになります。なので、同じ予算の中で二、三人が質問しているものがあると思うんですが、これはどちらかを選んでいく形になります。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

そこはもうその担当の方の権限ということで、ひとつよろしくお願いします。

ページ構成の決定についてはよろしいですね。ページ構成というか、その補正予算のところの。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

（2）ということで、牧之原市議会だより「かけはし」。

○（石山和生君）

その前に、ページ割のところはいいですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

ページ割のところ、視察って、黄色の特集ページがあるじゃないですか。これの、事前に依頼するんだったら、しておいたほうがいいですよ。前回ちょっと遅くなったから。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

これから、担当の委員長であつたりに依頼をかけたいと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

あと、報告会って、どうなっていたんでしたっけ。事務局がつくってくれていたんでしたっけ。じゃあ、それは大丈夫なのか。

割と早いうちに提出期限を出しておいてあげたほうがいいと思うので、よろしくお願いします。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

では、ここのところはよろしいですね。

2 事件 （2） 牧之原市議会だより「かけはし」紙面のリニューアルについて

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

（2）牧之原市議会だより「かけはし」紙面のリニューアルについてを議題とします。
ここの部分、石山副委員長のほうから、進行のほうをお願いいたします。

副委員長。

○（石山和生君）

よろしくお願いします。

では、説明させていただきます。今、議会だよりリニューアル案まとめというものが、これで一応、ほぼ各ページのほかの自治体のものをまねしてつくるところが、一段落したという認識です。

参考に多分、事務局が見本紙とつけていただいているのが、この対応になるページをつけていただいています。これをパワーポイントにまとめたのが今回ですね。

一応前回からあるページも、クオリティをさらに上げるというところで、昨日提出で、まだ我々は話していないんですけど、ここに出ています。

今後の動きとしては、一旦まねするところまでは、ひと区切りついたら判断した場合は、我々が言っていた、例えば色とか、一般質問とかもこれをまねするんじゃないくて、3分の2にしようとか言っていたと思うので、我々ナイズとしていくというか、そういう段階に入っていくと思います。

何か質問があれば、よろしくお願いします。

事務局から補足とかありますか。大丈夫ですか。

○事務局書記（増田奈菜子君）

事務局の単純なミスで申し訳なかったです。中山議員も同じようなトピックスを出していただいていた、昨日、夜中に全部そろえたのもありまして、ごめんなさい、漏れました。本当、申し訳なかったです。いただいていたのに。

○（菅沼保弘君）

ざらでまとめて、こんな方向でというので、一回議長に言うんですか。タイミングとして。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

これって確かに皆さんの意見を聞かなきゃいけないなと思うのが、まず、議長に見せるのは、我々的にはこれでいこうと思いますというのでいいような気がするんですけど、どう思います。この段階で見たほうがいいかどうか。

○（中山尚大君）

ワンクッション置くという考えは、これで問題がないかというのを、確認でという意味ですか。ここで話を進めちゃってオーケーかという。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

あと、ちょっと事前に見ておかなきゃいけないのは、そもそもパワーポイントまで起こした上で、小山さんが本当にちゃんとやってくれるのかは、ちょっと確認したいなと思うんですけど、議長に進捗の報告をしておいたほうがいいのではという意見であれば、しておいて損はないか。途中で、いやいやみたいになるリスクさえなければ。

どう思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

これは自分からですが、自分は一応ここまで動いているかなぐらい。なので、思い切りこれを出してしまうと、それは、とかいろんな反響が出てしまって、そこでストップされちゃうこともあるので、こういうところぐらい進んでいますよというぐらいは、告知は必要かなというのは思うんですね。

多分細かいところまでは、まだ出せないよというところでもいいのかなと思うのですが。

○（菅沼保弘君）

ベースとなるものは、取りあえずこれで、牧之原市を代用した内容を見せるなら、その時点だという感じですかね。

○（石山和生君）

そっちのほうがいいかな。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

中山委員。

○（中山尚大君）

議長の確認というのは、どの程度の意味を持っているのか、私よく分からないので教えてほしいんですけども、こういうふうに進捗状況を伝えて、仮にここで駄目と言われたら、今後、後から作業を進めてみて駄目と言われるリスクは減るので、メリットしかないんじゃないかなと思うんですけど、まめに全てをちゃんときちんと確認してやることのデメリットとあって、あるんですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

まだ雑なので、雑な時点で、我々の合図としたものであれば許されるのに、例えばこれ一般質問のやつだと、1ページに2人と言っているのに四つあったりとかするじゃないですか。説明したら分かってくれるという前提はあるのかもしれないんですけど、何か勘違いがあって、誤解を招くみたいなことは、リスクとしてはあるかなというふうには思いません。なので、我々の意図、例えばこの一問一答も多分、見た目は一緒かもしれないですけど、趣旨は結構違ったりしているので、これはオーケーと言ったけど、それは違うよみたいな、分からないんですけど。というリスクは若干あるけど、さっき言ったようなメリットもありますよねという。

あと、仮に、非公式の場で確認したとして、その場ではオーケーと言ってもらっていたと認識して、けど、後から話したら、それもまた誤解でみたいな可能性があります。難しいと思うので。意味分かりますかね。

オーケーと言われていたという認識だけど、あれ、オーケーと言っていないでしたっけみたいな、結構そういうのも、何となく。なので、僕たちは僕たちで、言われたからオーケーと思って進んでいたら、どんでん返しみたいな誤解によって、意図したものではなく、誤解によって何かあるというんだったら、まずは我々の意図をしっかりとつくったものを見せたほうが、誤解も少ないのかなとは、若干思いました。なので、そっちの方法でいいかなと思いますと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長が言ってくれたように、一応、本当にざっくり感の、言葉は悪いけど、やって・・・ないですけど、ざっくり感のこれを見せちゃうと、イメージがなっちゃうので、ある程度、本当にこちらの形というものをしっかりと示せる形になってからのほうがいいかなと思いますので、そういう方向でということで、よろしいかなと思います。

ほかに何か。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

委員長への報告は、ある程度こちらでのレイアウトが固まってからさせていただいて、小山紙店さんのほうに対しては、既に何度かお伺いして尋ねてはいるんですけども、改めてこのリニューアル案まとめの原案を確認させていただいて、こういったことが可能かどうか、デザインだったりとか、印刷面だったり問題がないかなどを確認するといった方向でよろしいですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

そうですね、今おっしゃったように、多分小山さんのところに言うのは、我々は今、自分たちなりに9.5割くらいは実現させようと近づけてはいるんですけど、やっぱりプロ目線でいったときの最低限の修正というのは、まだ必要な感じがするので、そこをやってもらえるかどうかは、ちょっと確認しないといけない感じはするので、そこに関しては、今のあるようなものを見せて、きれいにできるかというところですね。先に確認しておいたほうが、確かにいいと思うので、その方針で動きたいと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

中山委員。

○（中山尚大君）

私も今さらでちょっと申し訳ないんですけど、小山紙店さんと私、面識もないし、かかったこともないので、正直言って、今まで全然話がついてこれていなかったんですけど、小山紙店さんはどの辺までやってくれるんですか。全然立ち位置とか、裁量が分かっていないので、できれば教えてほしいなと思ったんですけど。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

小山紙店さんは、簡単に言ったら、我々のここに出てくるやつは事務局がつくってくれています。それをある程度、紙にきれいにしている作業が小山紙店さんがやっています。

○（中山尚大君）

そのままプリントしているわけじゃない。

○（石山和生君）

全然違います。中と違うじゃないですか。大きい紙になったときと、このときは文字が違いますとか、デザインがちょっと違ったり。そこのデザインのリデザインは小山紙店さんがやっているということ。校正とか文字の、ワードでこっちはやっているの。

○（中山尚大君）

それは、小山紙店さんは、どういうやり方でやっているかは分からないけどということですか。取りあえず言ったことをできるという。

○（石山和生君）

この前の話だと、ワードか何かで送ったやつが、あっちの専用デザインに起こせる何かがあるという情報は聞いていますけど。

○（中山尚大君）

向こうは、できると言われたら、できるんだけど、それはちょっと確認したいという。

○（石山和生君）

本当にできるかというところですね。

多分、ワードでできているんだから、できるんじゃないかなとは思いますが。

○（中山尚大君）

分かりました。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

篠崎委員からで、トピックスを今、すみません、それだけでフォルダの中にぼんと今入れさせていただきました。さっきのリニューアル案のデータの隣にある、このピンクの記事のもので。

すみません、委員会が終わり次第、もとのデータと正式にくっつけて保存しておきます。すみません。こちらでご確認をお願いします。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

これでいいですかね。本当にきれいに上がって。

○（石山和生君）

そんな感じで、今後はまた進捗は報告します。

なので、この後ちょっとだけまた作戦会議をしましょう。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ほかには何か。

篠崎委員。

○（篠崎朗子君）

作戦会議の前に、方向性とかをここで確認したりとか、オリジナリティの部分で、というのがありますか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

それは、以前やったものがあるという認識。その方向性に関しては。なので、まずそれに合わせてやっていくでいいと思っていますけど。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それこそ、今回、視察関係のというか、振り返ったじゃんね。それで、こっち側のデータの関係は、委員長、副委員長を含めてという形で、それである意味、お任せという言葉ではないですけど、いい形で、やっぱり慣れている方たちのほうがいいということになっているので、その方向性で我々がという感じのイメージでいいかなと思いますので。

次に何かありますか。いいですか。感想なり。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

よろしいですね、それでは。

2 事件 （3） 行政視察について

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

では、続いて、次の議題に入ります。

行政視察についてということで、事前質問の確認ということで、事務局のほうで整理してくださいました。事務局から説明のほうをお願いいたします。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

それでは、視察研修事前質問まとめという資料をご覧ください。

こちらに、皆様からいただいた事前質問の内容をまず並べまして、次に、まとめた内容、同じ質問であったりとか似通った質問をまとめて掲載したものを下に書くようにしております。

皆さんは、これを一通り読んでいただきまして、自分の意図する質問だったり、ちゃんとこの中に含まれているかというのを確認いただきたいです。

特に注意してというか、お聞きしたいのが、島田市さんのほうでして、最後のページをご覧くださいでしょうか。

このうち、青字になっているものにつきまして、説明させていただきます。

まず、島田市さんなんですけれども、こちらに市民インタビューを始めたきっかけは何か、目的は何だったのか、インタビューを掲載することで議会への関心・距離感に変化はあったかなどの、インタビューを始めたことによる経過を聞くような内容の事前質問をいただいているんですが、島田市さんが市民インタビューを始めたのは今から10年前、平成27年からになりまして、始めたきっかけ、その目的、始めたことで議会への関心・距離感に変化があったかを聞いた場合に、10年前に始めたものの結果を今聞くことができるかどうか、ちょっと怪しいのかもしれないということを個人的に感じまして、青字のほうの質問は、10年間やり続けたことによって何が変わったかというような書き方を変えているものになります。

例えば、市民インタビューを掲載することで、議会への関心・距離感に変化はあったかについては、市民インタビューを掲載し続けていることによる変化・効果を感じているか、に変えようかとしております。

これを見た上で、改めてご質問をしたい委員の皆様にも、あくまでも経過ではなくて、やったことによる変化を聞きたいのか、それとも私がちょっと・・・させていただいたんですが、10年間、載せ続けたことによる経過を聞く方向の質問に変えるかについて、ご意見をいただきたいという内容になります。

また、その下、赤字で書いてある箇所がございますが、この赤字が取材対象者をどのように決定しているのか、誰が決定しているかなどの内容なんです、別資料で、島田市回答議会広報インタビュー記事についてというものを用意してございます。

こちらは、以前、島田市議会事務局さんのほうに、インタビューの内容について、どのように行っているかを事務局間同士で確認した際にいただいた回答になります。この中に一部、誰がどのように決めるか、インタビューについての内容確認とかについて、既に回答をいただいている箇所がございましたので、その箇所についてを赤字にさせていただいております。問題がないようであれば、この赤字の箇所は消させていただきたいと思っています。質問された委員の方がそれで大丈夫なのかというのを確認させていただきたいです。

いかがでしょうか。ちょっとこれを聞いた上で、ご意見いただいて、かなり今の状態でも質問数が大変多くなっておりますので、削除できるもの、または聞いた上で再質問、これだけにとどまらず、再質問でいただいたその回答を基に、さらに島田市議会さんのほうに質問ができますので、再質問で済ませられるものは再質問に回したいと思っています。ですが、いかがでしょうか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

視察チームで絞っちゃっていいような気がしますね。ある程度、質問を。抜けてしまったものは再質問できるので。それでいいんじゃないですかねというところはどうですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ほかには、いいですか。

視察委員さんになっているので、そういう方向でよろしいかなと思います。要は、現地に行って細かい部分のところ、質問できますので、なので、取りあえずちょっと大枠の中のポイントのところを相手側のほうに質問を示すという形でいけばどうかなと思いますけど。

副委員長。

○（石山和生君）

なので、今、視察チームじゃない方は、今のうちに何かこれはというのがあれば言っておいたほうがいいと思うので。

さっきの、目的は何か聞きたいなというのは若干思っているの。目的というか、きかけかな。何でやる。多分何か残っているんじゃないのかな。議事録とか残っていないかな。分からなかったら分からないでいいので、どういう目的で、これから我々が始めるといって当たって、ちょっと知りたいなと思います。そこだけちょっと、僕の意見として、よろしくお願いします。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ほかには。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それでは、こっち側の視察のほうでまとめさせてもらっていくという形で進めていきます。

それでは、次の議題に行きます。そのほかになるんですけど、議会広報アンケートのほうを、事務局から。

○事務局書記（増田奈菜子君）

視察行程表については、大丈夫ですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

行程表のほうを、事務局、説明をお願いします。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

視察の行程表案をご覧ください。こちらなんですが、7月28日、29日に行政視察のおおよそのスケジュールをこちらに立てさせていただきました。

業者さんが見えまして、おおよその新幹線の時間とかを調べていただいたので、到着時間だったり、出発時間だったり、おおよそこちらで決定になっております。

何か質問のある方は、これを見ていらっしゃいますか。

また改めてしおりをつくりますので、そちらにこの行程表を掲載させていただきたいと思います。ご承知おきのほど、よろしくお願いします。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ちょっと一点確認なんですけど、行程の中で、2日目の島田市役所のほうは、これは現地に直接行ってもいいよということですかね。

一応出るけど、行きたい方は直接という形も取られる。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今考えているのは、直接ではなく、事務局のほうで公用車を運転して、それぞれ相良庁舎、それから榛原庁舎にお迎えに上がりましてお送りする予定でいるんですけども、直接お伺いしたほうがよいですか。そうしたら、皆様の分の駐車場を確保していただくように、島田市さんをお願いしますが。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ここは確実に公用車で行って、駐車場の確保も含めた上で行ったほうがいいかな。

ちょっと確認の意味でさせていただきました。

○事務局書記（増田奈菜子君）

一応確認しますと、以前、焼津市議会さんがこちらに来たときは、焼津市議会の議員さんそれぞれのお車で来られたときもあったので、もしそれぞれのお車でということであれば、お聞きしてみます。あれば。

もしそうでなければ、公用車での移動を基本としたいと思っておりますが、どうされますか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

特に向こうでよいほうが、島田方面で何かしら用があるので直接行きますよとか、そういうのがあったら、それはそれであれなんですけど、基本的に公用車という方向で。

○（中山尚大君）

私の気持ちだけ言っておくと、できれば現地集合がいいんですけど、それでちょっと何か話がおかしくというのであれば、全然皆さんと一緒にいきますけど。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それこそ自分が発言しておいて、というところなんですけど、何かあったりとか、遅れたりとかするともいうのもありますので、基本的に公用車ということで、お願いします。

この部分には関しては、よろしいですかね。

〔「なし」と言う者あり〕

3 その他 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」紙面のリニューアルについて

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それでは続きましてその他のほうで、議会広報に関するアンケートのほうがまとめていただいております事務局、本当にありがとうございます。

ちょっと説明のほうをお願いします。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

資料は、牧之原市議会広報に関するアンケートをお開きください。

こちらですが、今年の2月15日から3月15日に行った議会広報に関するアンケートにつ

きまして、速報として、皆様に簡易的なまとめたものを出させていただいたんですが、改めてホームページに掲載できるようなページ番号をきれいに整えたものを作成しましたので、ご確認いただいた上で、今度の議会運営委員会、そして全員協議会のほうに諮りまして、正式にホームページに掲載するという流れを汲んでいきたいと思い、今回、皆様に確認をお願いしたく、こちらの資料を提出させていただきました。

まとめるに当たって、まず、グラフはそのまま採用する。グラフの横にありました細かいパーセンテージを書いた数字については重複する内容になるので削除する。自由記述欄がございまして、（６）（１１）（１２）は自由記述欄になるんですが、これについては全ての意見を載せるのではなく、要約した内容を載せまして、最後に議会広報特別委員会の総括、全体を見てどう思ったかというのと、今後の改善点などを載せるという方向性をいただきますして、その内容のとおり、載せさせていただきます。

また、１ページ目の上段のほうに、はじめにという形で、議会広報特別委員長である絹村委員長の挨拶とお礼文を載せさせていただきます。

こちらを主に確認いただき、特に総括のコメントであったりとか、変える点、こうしてほしいという点がございましたら、この委員会の中で教えていただきたいといった内容です。

以上で説明を終わります。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局、ありがとうございます。こうやってまとめてくださいましたので、この文面とか、何かありましたら。

これ、一度もう皆さん目を通していますか。今日初めて。

○（中山尚大君）

私は今日初めてです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ちょっと黙読していると時間がかかるかもしれないですけど、すごく大切なところだと思いますので。

○（石山和生君）

超重要なので、見開き１ページずつやっていきますか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それじゃあ、１ページずつということ。

この１ページは、表紙。

目次から。

○（石山和生君）

結果報告書の、４月いうのは、どこがいいんですかね。報告書を出すときですかね。それとも報告書だから。

○事務局書記（増田奈菜子君）

・・・なのは７月でもいいと思います。

○（石山和生君）

７月。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ここね。

○（石山和生君）

目次は皆さん、大丈夫そうですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

いいですか。

では、続いて、1ページ、はじめにというところから、お願いします。

皆さん、どうですか。自分からちょっと2点ほど。

まず、上から2行目から3行目にかけて、「「議会広報に関するアンケート」では、多くの市民の」、この多くって、アンケートを取ると、合計83人なんです。なので、ちょっと多くのという言葉は別にいらないのかなと思って。市民に協力していただいたとか。

ここの部分と、あと一番最後の、「引き続き変わらぬご指導を」って、市民の皆様からご指導を承ります。自分は少し違和感があるので、例えばご意見をまたいただくようなんていう、これは上段にも載ってしまっているのであれなんですけど、ご指導という部分がちょっと硬いし、指導をお願いしているというような部分が、コメントってなかなか浮かばないんですけど。

○（石山和生君）

これからも一同邁進してまいります。よろしくお願い申し上げます、でいいんじゃないですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

そうですね。シンプルでいいかなと思います。

○（石山和生君）

大丈夫そうですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今の点を踏まえた上で、私からちょっとお尋ねしたいのが、委員会からの意見、例えば、委員長のコメントについては、ですます口調で、アンケートの目的を含めた、単純にあったことを伝える文章については、だ・である口調で書いてしまっていていいので、これを全部ですますの直したほうがいいかどうかというのを確認したいんですけども、いかがでしょう。このままでよろしいですか。

○（石山和生君）

いいんじゃないですか、このままで。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

特に問題ないと思います。

○事務局書記（増田奈菜子君）

同じものですみません。総括は、ですます。

○（中山尚大君）

逆にそういう分ける意味が分からない。統一したほうがいいのかなと思ったんですけど。好みの問題ですよね。好みの問題だと思いますけど。

○（石山和生君）

じゃあ、全部ですますにしますか。

○**議会広報特別委員長（絹村智昭君）**

そうしてください。

このページはいいですかね。

○**（石山和生君）**

日付とかも大丈夫ですかね。

○**議会広報特別委員長（絹村智昭君）**

日付も大丈夫です。

あと、このグラフのほう、アンケートの結果、こちらはそのままという感じの中で、自分は一回見ているんですけど、議会アンケートの7番、あなたが興味のある記事はという中で、パーセンテージがばらならなくなってしまっていて、自分のイメージだと、丸が100%の中でのパーセンテージだとイメージしているんだけど、複数回答になってしまうと困ってしまうのかな。

○**（中山尚大君）**

これ、何を置いてのパーセンテージなんですかね。

○**（石山和生君）**

回答者の何パーセント。

○**（中山尚大君）**

回答数分の回答者のうち何パーセント。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

複数回答の、例えば複数も一々カウントしたので、複数一致でカウントしてしまったので、これだけ、すみません、私が気がつかなかったもので、棒グラフとかに直して、百何人中七十何パーセントが、それぞれ一般質問をこれだけ見たいというものに変えたほうが。

ここだけ棒グラフに直します。

○**議会広報特別委員長（絹村智昭君）**

すみません、そこがちょっと気になったので。

○**（石山和生君）**

その前は大丈夫ですか。

○**議会広報特別委員長（絹村智昭君）**

ページに戻りましょう。

このページでいくと、4ページ。

大丈夫そうですね。

それでは、5ページになりますね。

副委員長。

○**（石山和生君）**

（6）なんですけど、回答から一部抜粋し掲載と書いてありますが、多分抜粋じゃなくて、要約している。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

そうですね、抜粋要約させていただきました。

○**（石山和生君）**

完全に抜粋をしているところってありますか。回答の要約じゃなくて、抜粋って、切り抜きというか、そのまま。

○事務局書記（増田奈菜子君）

要約自体が抜粋なのかなと。

○（石山和生君）

要約抜粋。

○事務局書記（増田奈菜子君）

これだけでは、・・・なので、10個の中から何個か選んでいる、まとめているというのもあるので、抜粋要約。

○（石山和生君）

回答から要約。回答の要約版ね。ちょっと日本語が難しい。

○事務局書記（増田奈菜子君）

抜粋でもいいのかなと私は思っていたんですけども、気になるようであれば、抜粋・要約に変えます。

○（石山和生君）

・・・もいらないか、そうしたら。回答から抜粋って、要約。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

手堅いじゃないですか。手堅いと思います。そっちのほうが。

○（石山和生君）

回答から抜粋・要約をし、掲載。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

いいですか、4ページは。

5ページはいいですか。

○（石山和生君）

僕の国語能力のなさかもしれないけど、散見って、勝手にネガティブなワードなイメージがあるんですけども、そんなことはない。僕の勘違いですか。

それなら全然。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

あまり使わない言葉だなって、自分も一瞬思った。

○事務局書記（増田奈菜子君）

それは私の語彙力のせいなんですけれども、あちらこちらに見当たること、ちらほら見られましたよ、が散見という意味ですね。

○（石山和生君）

じゃあ、別にネガティブ意見じゃない。

じゃあ大丈夫です。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

自分もちょっと笑っちゃうんですけど、・・・なので、チラ見という感じで。ちょっと散見ですので、間違いない。

○（石山和生君）

僕よりも国語能力が。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

5 ページ。

5 ページはいいですね。

まだ。

○事務局書記（増田奈菜子君）

・・・の問題なんですけど、掲載内容があまり興味関心を・・・。総括のところ。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

総括、一番後ろ。どこ。

○（石山和生君）

多分、総括のところ。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

グラフの。

○事務局書記（増田奈菜子君）

5 ページの、グラフの上のところの、議会広報特別委員会の総括。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

多分、前回こういう方針でやるとなっていて、こうやっているんですけど、この総括は（6）の総括じゃなくて、（6）のまとめだけで十分な気がしたんですけど。この質問、要するに自由記述があるところは総括をつけているということですよ、多分。多分、前回そういう方針にしたんだと思いますけど、こうやって見てみると、まとめだけで十分で、総括は本当に全部の総括だけでいいような気がしたんですけど、どうですかね。難しいような気がする。1 個 1 個の、満足していない理由のところだけの総括になってしまうので。

まとめだけで、全体の総括は入れてもいいけどと思いました。どうですか。

自由記述のところは、総括が必ず入っているんですよ。

○（中山尚大君）

でも、これも好みの問題だと思うんですよ。こちらで別に何か支障が出るわけでもない。

○（石山和生君）

なるほど、じゃあちょっと待ってください。

ありならあれでオーケーなんですけど、ちょっと気になるのは、「掲載内容があまり興味関心を得られていない、読者が気になるトピックスが少ないのではないかと感じました」が、なぜその根拠というかが結構難しいなと思って。

これ書くということは、委員会としてそれを感じているというのを出すということなので、ちょっと難しさが。

○（中山尚大君）

これかなりぶっちゃけていうとネガティブな。

○（石山和生君）

だって、この（6）はそもそもネガティブなところの質問なので、そういうのが出てくるのは出てくるんですけど、なので、質問ごとに総括とつけちゃうと、そういうふうに。

○（中山尚大君）

そういう総括でなきゃいけない。

○（石山和生君）

ここはだって満足していないところの総括だから、そうなっちゃうなと思うんですけど。

○（中山尚大君）

ちゃんとした返答をしなきゃいけない。

○（石山和生君）

なので、それだったら、全部の総括にしてしまっ。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

この形式になった経緯なんです、委員会の中でそれぞれいただいた意見一つ一つに対して、返答は無理でも、何かしらのアクションを起こしたいといった内容から、皆さんの意見を載せるというふうになったんですね。なので、もちろん石山委員がおっしゃったように、総括として委員会の意見を一つにまとめることもできるし、そのほうがきれいであるという意見もあるんですけども、当初の委員会での話としては、それぞれの設問で出た意見に対して、委員会の思いであったりとか、こう考えているというのを伝えたいという意図があって、こういう構成にしたという経緯がございました。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

それならそれでいきましょう。確かにそういう話だったと思いますので。

ここの、あまり興味関心を得られていないって、気になるトピックスが少ないというのは、今の（５）への質問ですよ、これって。この満足度の話だけで、かつ、自由記述か。自由記述のこのまとめの中から、気になるトピックスが少ないとまで言えるかなというのは若干。

○（中山尚大君）

そうですね、気になるトピックスというようなアンケートの言葉・・・。

○（石山和生君）

難しいんだよね、書き方が。

ここまではいいと思うんですよ。「掲載内容があまり興味関心を得られていないのではないかと感じました」までだったら、内容に興味を持ってないというのは書かれていますもんね。気になるトピックスがないみたいな、明確に書いてあったら言いやすいんですけどなと思いました。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

これを書いた理由、「読者が気になるトピックス」にかかる部分は、自分たちの生活との関連性を感じないと、市民に関連する内容がほしいというところから気になる内容を、トピックスという表現をしたんですが、市民に関わるトピックスが少ないのであれば、書

いてある掲載内容とそこはないと思うんですが、ここを消すか、それとも、今言った市民に関わるトピックスが少ないのではないかと感じましたの回答は、どちらがよろしいですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

そこから取ってきているんだったら、また、読者が身近に感じられていないのではないかと、くらいでいいんじゃないですか。一番のところとかですよ。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そうですね、この部分は最も多かった意見になりますので、ここから引っ張ってきています。

○（石山和生君）

そうですね。これだったら、タイトルから取っちゃって、関心の話と、身近に感じられていない、でいいんじゃないですか。気になるトピックスではなくて。それなら何かすっきりする気がします。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

では、訂正させていただきまして、掲載内容があまり興味関心を得られていない。読者に身近に感じられていないのではないかと感じました。

に、変えさせていただきます。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

少々言葉は難しいんですが、「という所感を得ました」に変えます。

○（石山和生君）

それでいきましょう。

ほかは大丈夫かな。デザインの話。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

続いて、6ページはグラフなので、ちょっと題目を見ながら。

続いて、7ページをお願いします。

副委員長。

○（石山和生君）

ちょっと安牌に行くんだったら、「より現代的で」なしでもいいかなと思いました。いきなり、「視覚的に優れた」。今が現代的じゃないですみたいな。先輩方に配慮すると。

「より視覚的に」でいい。「現代的で」を抜かしてもいいかなと思いました。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

現代的にを入れた理由が、QRコードの導入だったりとか、若者をひきつけるための工

夫をしてねのところにかかってきて、現代的と書いたのもあるんですね。

なので、ちょっとそこに触れず「視覚的に優れた表紙」にするだけでいいか、それとも、この辺にもちょっと触れたいというふうに思いますが。それか、より訴求力あるみたいな言い方をするか。

○（石山和生君）

機能的で、とかのほうがいいんじゃないですか。ＱＲコードは機能とかなので。「より機能的で視覚的に」だったら、いいんじゃないかなと。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

今の文面でいいかなと思います。

○事務局書記（増田奈菜子君）

ありがとうございます。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

7 ページはいいですか。

8 ページをお願いします。

いかがでしょう。特に自分のほうではないですけど。

いいですね。それでは、8 ページは。

それでは最後のページになるのかな。議会広報特別委員会の総括になります。ここをお願いします。

中山委員。

○（中山尚大君）

8 ページを過ぎちゃったんですけど、8 ページを読んで、市民の意見を取り入れる仕組みづくりというところで、もとの文章が分からないですけど、ＱＲやオンラインを使いという部門はあるんですけど、ＱＲって、ＱＲとＱＲコードって違って、ＱＲってただのクイックレスポンス、早い返答ってだけなので、そこは大丈夫なのかな。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ＱＲコードやということ。

○（中山尚大君）

そうそう。ＱＲというと、ただ単に早い返答というだけの意味なので、ＱＲコードにしないとちょっと言葉としておかしくなっちゃうんじゃないかなと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

ＱＲコードに変えるか、もしくは、ＱＲコードって、デンソー株式会社がたしか商標登録されているものだったと思いますので、2次元コードに変えるか、しようと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

引っかからない文面でお願いします。

そうしたら、ＱＲになっちゃうかもしれないですけど。

○（中山尚大君）

そうしたら、このインスタグラムとかＬＩＮＥとか、こういう固有のＩＴサービスって出しちゃっていいんですかね。ＳＮＳとか。

○（石山和生君）

多分ＱＲコードは、さすがに大丈夫だと思うけど。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

自分も大丈夫なような気がするんだけど。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そうしましたら、「ＱＲコード」に変えようと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

そういう形でお願いします。

９ページのほうをお願いします。

篠崎委員。

○（篠崎朗子君）

「議会だよりでは本会議であった全ての質疑を掲載しておりますが」とあるんですけど、一応選択して選んでいるので、今までの質疑がこの程度なのかという誤解を招くのがちょっとつらいなと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

現状として、なるべく載せているというのが事実ではあるので、総括質疑から通告質疑まで、あった質疑については、基本的に載せるようにしているので。と思ったのですが。

○（石山和生君）

全てではない。

○（中山尚大君）

全てというと、100%という意味ですからね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

なるべくとするとか、それともここを丸ごと。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

丸ごとでいいんじゃないの。本会議であった質疑を掲載しております。

○事務局書記（増田奈菜子君）

では、ここは「全て」を消して、「本会議であった質疑を掲載しておりますが」に、直させていただきます。ありがとうございます。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

最後のＳＮＳのところは、多分僕たちのこの２年間で展開できるとはちょっと限らないと思うので、「こちらについても今後協議してまいります」くらいで。できればいいんですけど、「展開していきたいと思っておりますので」はちょっと踏み込まないほうがいいかなと思いました。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それこそ、ＳＮＳ関係の発信のほうに関しては、ＤＸと掲げているところもあるので、議会改革特別委員会のほうでやっていく、そういう。

○（石山和生君）

なので、SNSは広報だと思いますよ。だと思いますけど、僕たちはこのリニューアルが多分めっちゃくちゃ重たいので、この2年間で展開していきたいと思っていますは、ちょっと踏み込み過ぎたなという。協議してまいりますでいいんじゃないかな。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

自分もそう思いますので、いかがでしょうか。

一応、それでは文面的には。

○（石山和生君）

下の3行の、「こちらについても今後協議してまいります」でいいかなと。

リニューアルがきれいに収まったら、多分もう次の委員会に引継ぎみたいなのところに入ってはくと思うので。

○（中山尚大君）

2年で交代。

○（石山和生君）

2年で交代です。

○（中山尚大君）

全員入れ替わっちゃう想定になっている。

○事務局書記（増田奈菜子君）

引き続きやる方もいらっしゃると思いますけど。

○（石山和生君）

僕と絹村委員はもう6年やっていますからね。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

篠崎委員。

○（篠崎朗子君）

全消ししなくても、協議してまいりますの後に、1回丸にして、「この議会広報紙に関するアンケートを足掛かりとした、市民の皆様に寄り添った議会広報を展開していきたいと思っております」は、つけてしまっても大丈夫かなとは。

一文にしてしまうと、それが全部という感じになっちゃうんですけど、一回一度そこで。

○（石山和生君）

SNSの話じゃないよということ。

○（篠崎朗子君）

SNSは一回切っておいて、ただ、総括としては、アンケートのおかげでというところの。

○（石山和生君）

それは改行して、スペースを1個空けて、別の文脈みたいな形にしまえばということ。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

私もこの議会広報紙に関するアンケートを足掛かりとした、市民に寄り添ったという、そこはすごく大切かなと思っているので、ここはちょっと。そこはそういう形で、今、篠崎委員が言われた形でよろしいかなと思います。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

こちらについては、SNSに関する部分については、こちらについては今後協議してまいりますで、代名詞を切って、その後の言葉については、改行した形で、「この議会広報紙に関するアンケートを足掛かりとした」から始めさせていただいて、最後の結びの部分の言葉として、変えさせていただきたいと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ほかにはよろしいですか。

副委員長。

○（石山和生君）

スケジュールの確認なんですけど、これって、次の議運、全協に載せるじゃないですか。ここで修正が仮に何かあったとした場合って、さらに次の全協に乗せちゃった場合って、広報紙、間に合っていないですね、多分。次の次、次でオーケーと出れば、もちろんオーケーで、そこで何か修正が、修正というか、何か変えてほしいと言われたときに、その場でそれを訂正をしたら、もう出しますよとできるのか、もう一回、全協をはさまなきゃいけないんだったら、結構つらいなと思って。もし、その段取りを、もしそれが難しいのであれば、全協のときに、ここでいただいた協議事項を持ち帰って、議長の決裁でやりますよと言えればいいだけだと思うんですけど、そのスケジュールの確認だけ。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

こちらについては、協議事項ではなく、委員会の報告事項の一つとして、上げる予定であります。これについては、そもそももう既にほかの委員の皆様にも見せている内容ですね。それを見たときに、全部載せられてしまうとよくないというのと、議会運営委員会の皆様から、この話は議会全員にかかる内容なので、掲載する前に議会運営委員会を通してほしい、全協を通してほしいと言われたことから、本来であれば、広報特別委員会に取りまとめて決裁を取って掲載という流れでよかったものを、もう少し丁寧にやって、詰めているものになりますので、こちらの意見を取りまとめたものを議運に出して、もしかしたら議会運営委員会の方から何か数点、改善事項がある可能性もありますが、それについても全て直した上で、全協の場で報告して上げるという流れについては変えない方向で私は行きたいと思っています。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

その方向で全然構わないので、ただ、多分その文脈上、協議事項に挙げておいたほうが、どうせ議運に出すんだったら、変わらないものですね、手続上は。協議事項に、この前の会派のあれみたいな感じですよ。協議事項に入れろという意味合いだったような気がするんですけど。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

これはアンケートの結果報告なので、そこを協議という、それでまとめたものなのでと

いう。

副委員長。

○（石山和生君）

協議事項かどうかは、上次第でいいですよ。協議事項を求められていたら、協議事項にすればいいですよ。そこだけまず確認。僕たちの的には、別に普通に報告事項として載せるという方針でいいと。もし何か言われたら、ここの決裁で、そこら辺やらせてもらっていいですか。この決裁でやらせてもらって、仮に議運で何か修正が指示された場合も、全協に多分すぐ、全協までそんなにないと思うので、そこら辺もこっちで、多分そんなに大きい修正はないと思うので、こっちのほうで修正させてもらって、皆さんに後で報告するという形でいいですか。

そこだけまず一任もらえれば。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

そういう形で、上次第ということになるんですけど。そういう形で進めていくという形で、いいかと思います。

事務局、何かありますか。いいですか。

こちらのほうはいいとしまして、それでは、そのほか何か、ご意見等ありましたら、お願いします。

よろしいですかね。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それでは、一通り事件のほう終わりましたので、今回の議会広報特別委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。

〔午前 11時23分 閉会〕